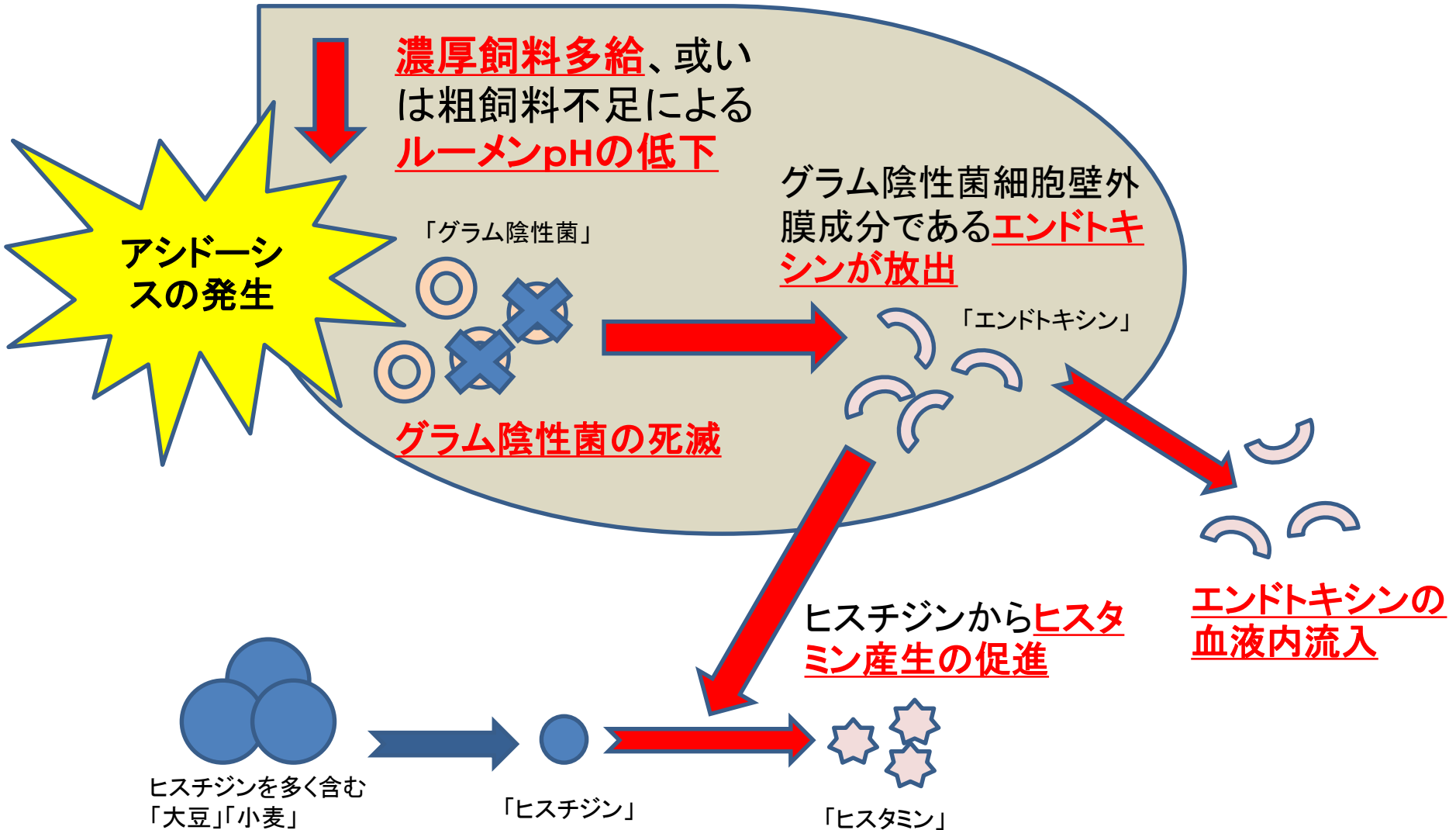
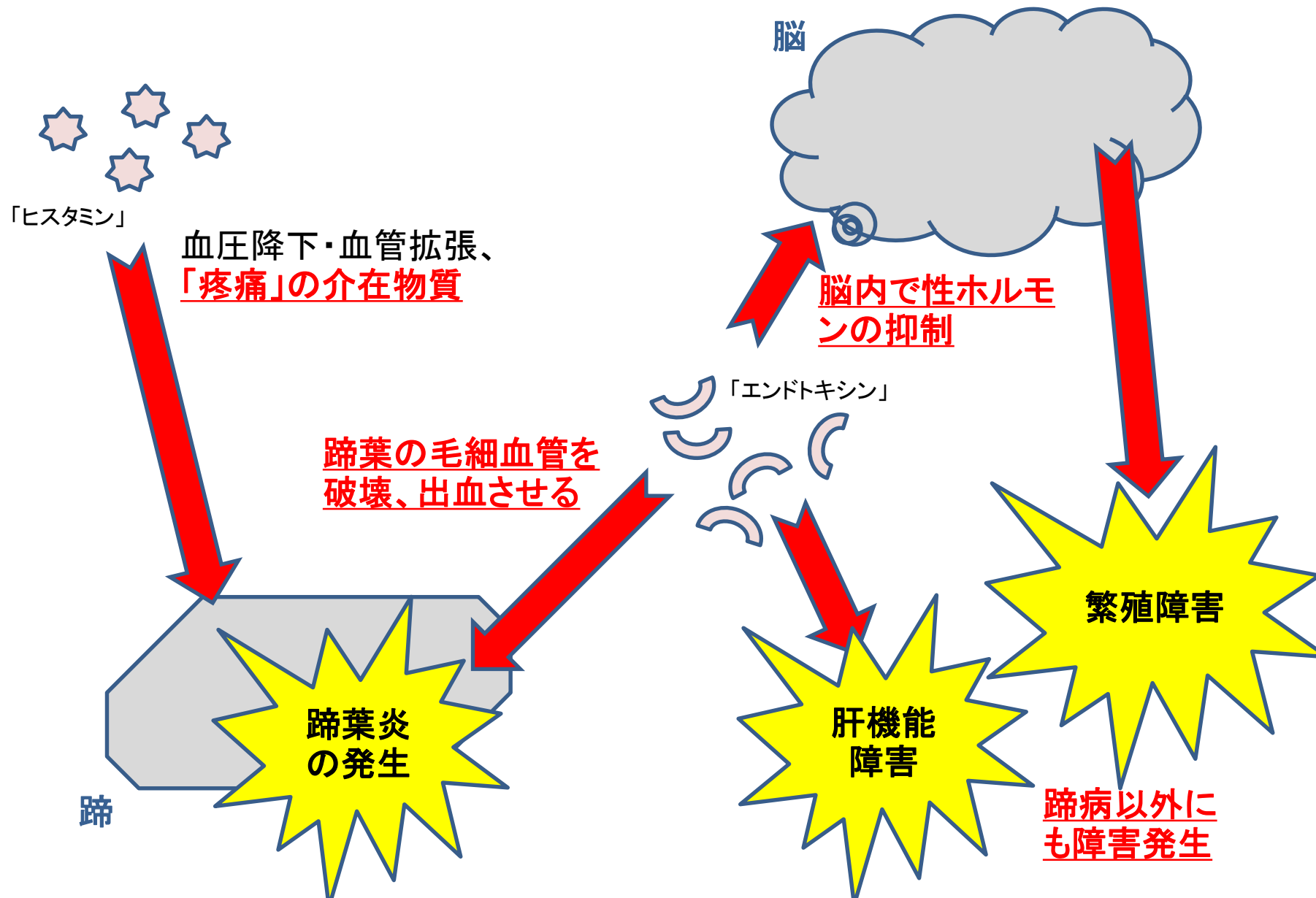
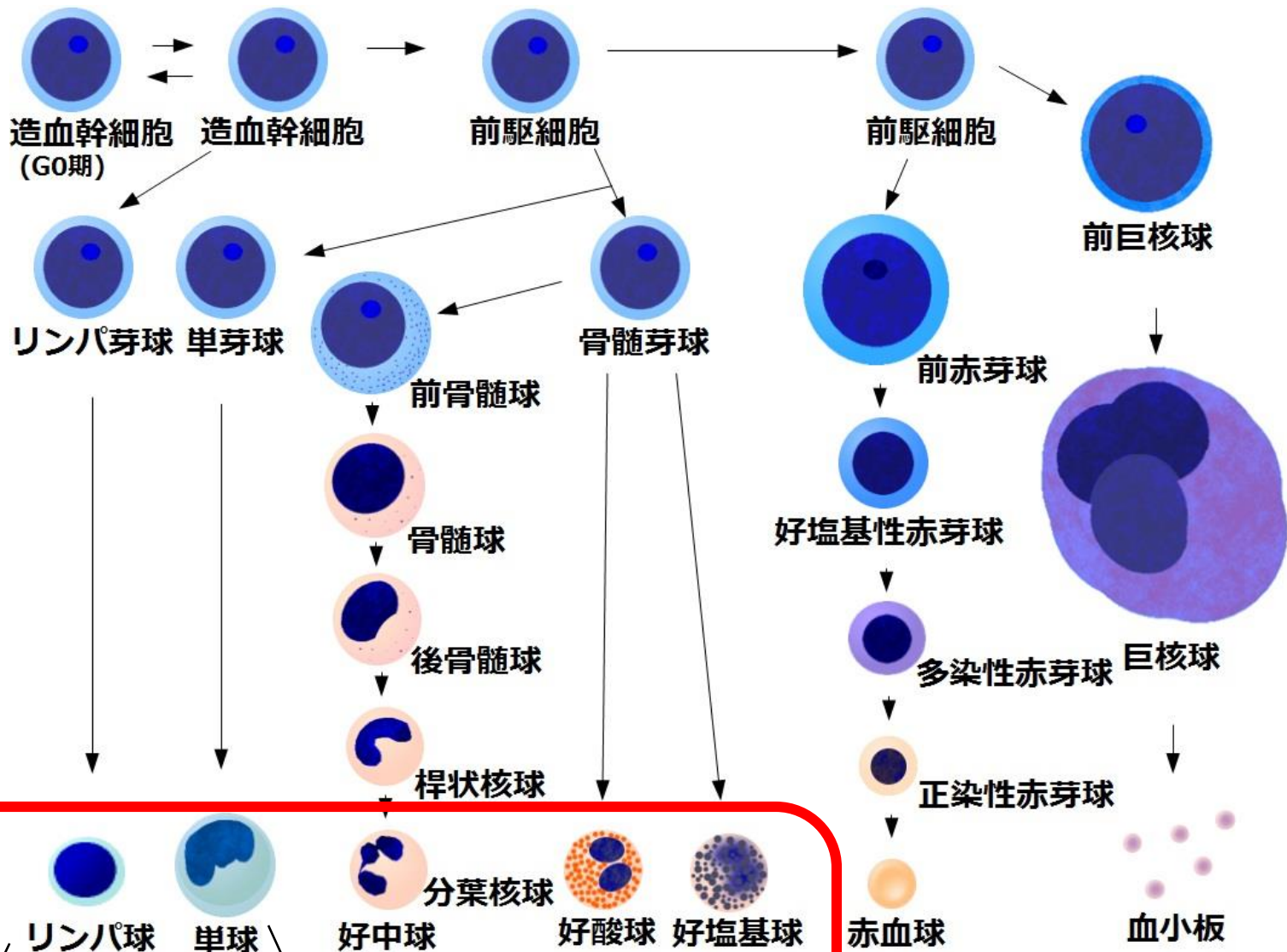


アシドーシス起因の疾病発生機序



アシドーシス起因の疾病発生機序





白血球

リンパ球

単球

好中球

好酸球

好塩基球

赤血球

血小板

NK細胞
B細胞
T細胞

マクロファージ
樹状細胞

分葉核球

アシドーシス起因の体細胞数増加

乳腺細胞

白血球活性化



「エンドトキシン」

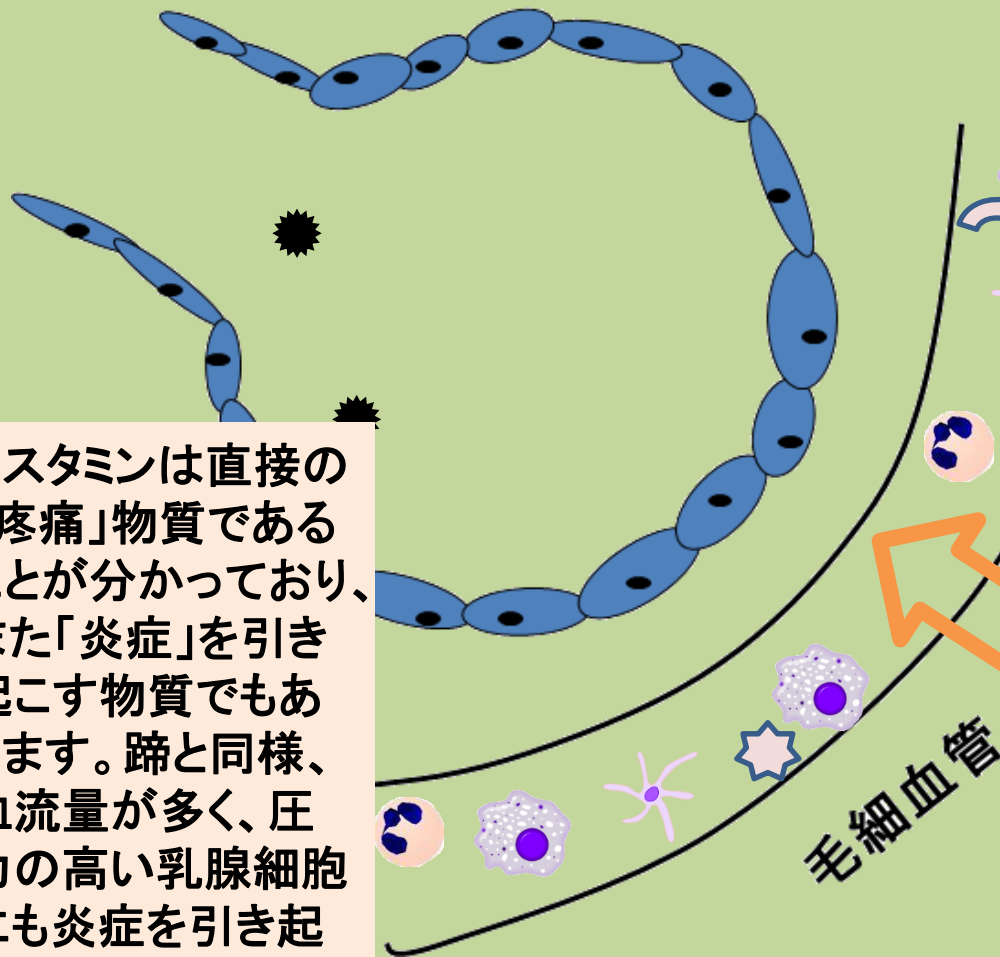
血管透過亢進作用



「ヒスタミン」

毛細血管

ヒスタミンは直接の「疼痛」物質であることが分かっており、また「炎症」を引き起こす物質でもあります。蹄と同様、血流量が多く、圧力の高い乳腺細胞にも炎症を引き起こします。



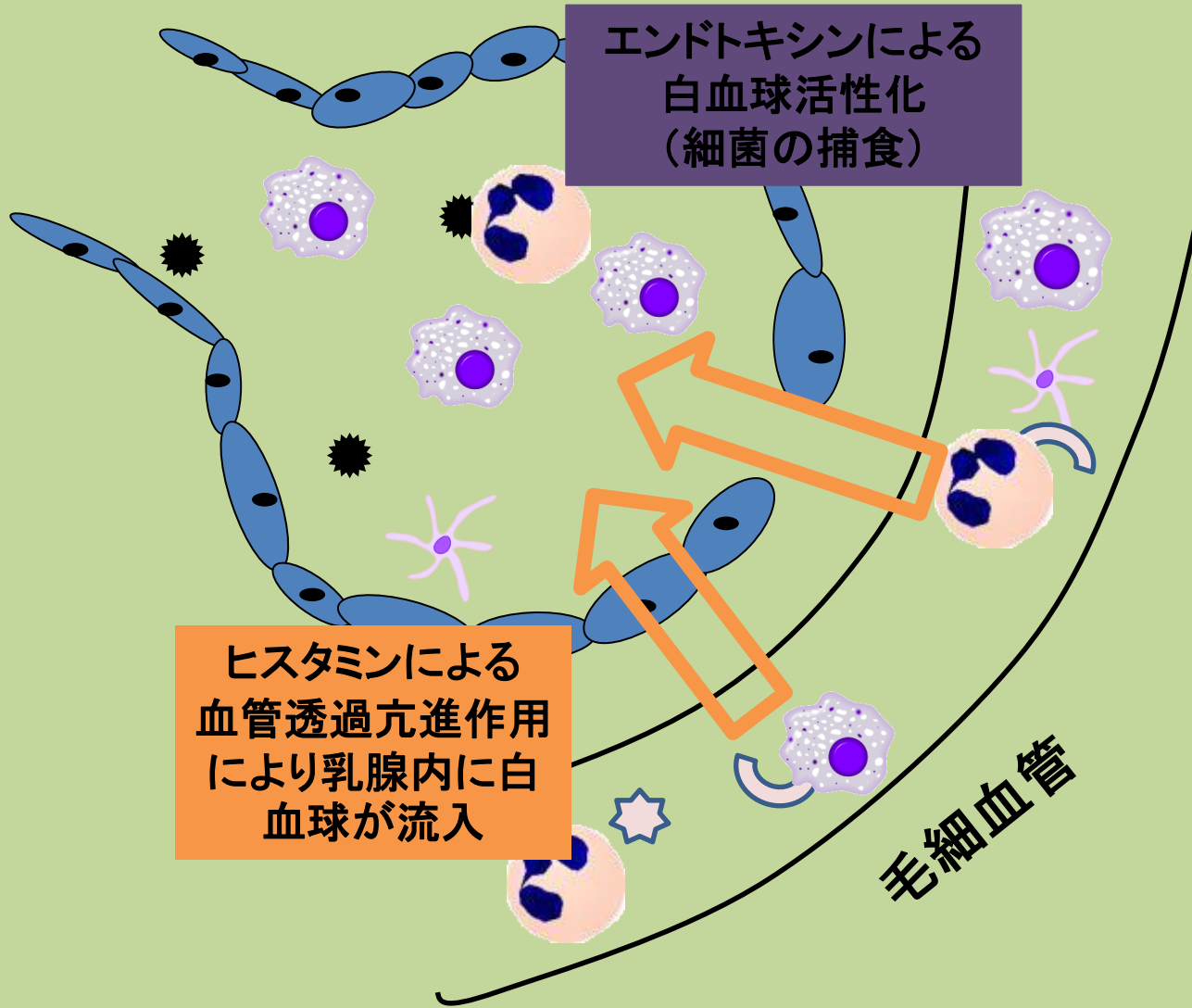
アシドーシス起因の体細胞数増加

乳腺細胞

エンドキシンによる
白血球活性化
(細菌の捕食)

ヒスタミンによる
血管透過亢進作用
により乳腺内に白
血球が流入

毛細血管



アシドーシス起因の体細胞数増加

エンドキシンの作用で血中白血球濃度が高まり、ヒスタミンの作用で乳腺細胞内に白血球 (=体細胞) が流入し、乳汁中の体細胞数が高まります。

